

アンケート調査結果

新型コロナウイルス（COVID-19） の感染拡大による影響について

令和2年4月



大館北秋田地域林業成長産業化協議会

アンケート調査

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による影響について

【調査目的】 新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大により、国内外での経済活動に影響が広がる中で当協議会関係者において現状の情報共有を行うとともに、今後の対策等の検討のため、アンケート調査を実施するもの。

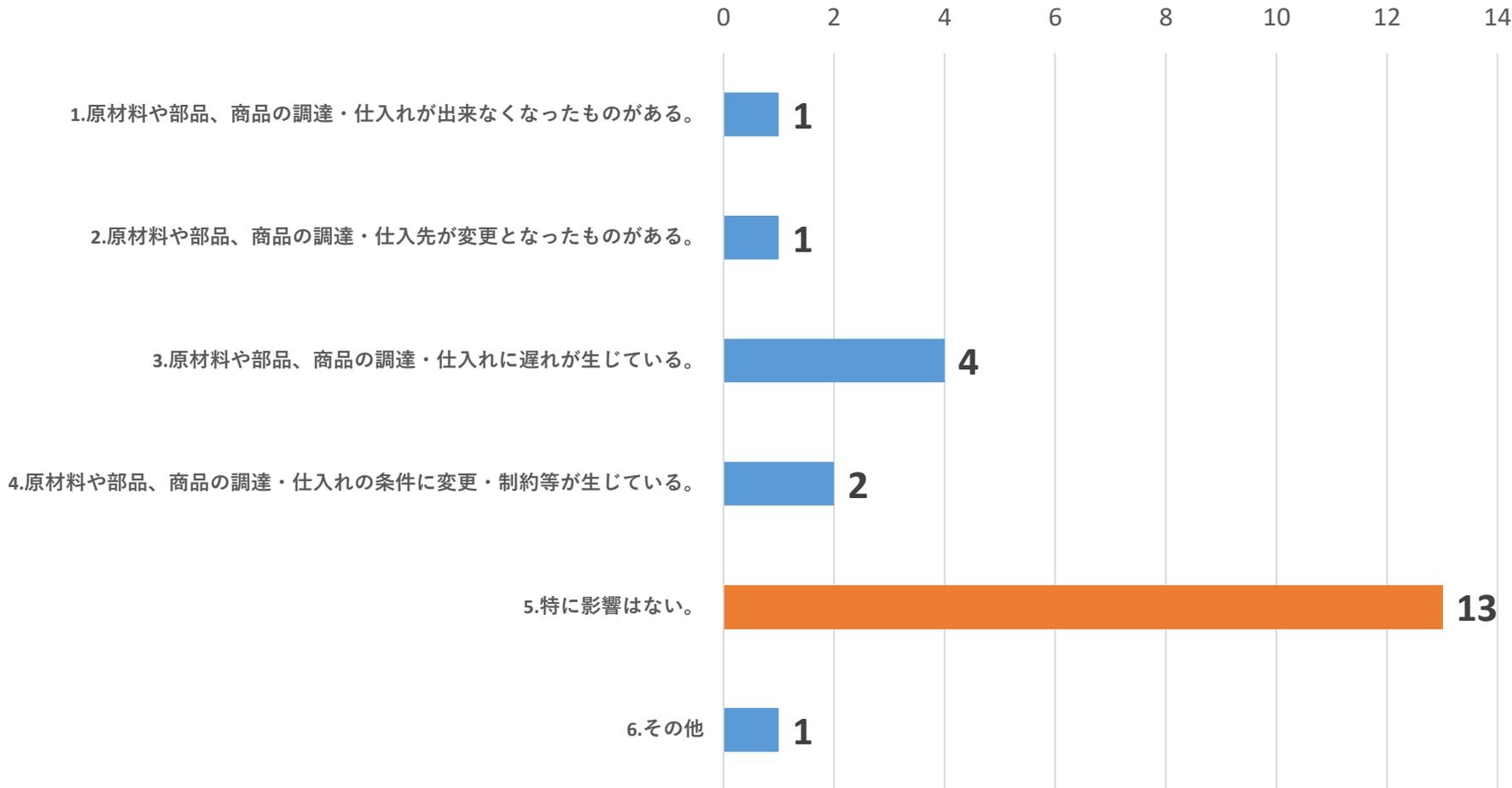
【調査方法】 F A X 依頼、F A X 回答方式

【調査期間】 令和 2 年 3 月 3 0 日（月）～ 4 月 3 日（金）

【調査対象】 大館北秋田地域林業成長産業化協議会 会員 2 8 事業体

【回答者数】 2 2 事業体（回答率：7 9 %）
うち森林組合・素材生産事業者・苗木生産者 1 2 事業体
うち木材加工・バイオマス・流通事業者 1 0 事業体

1-1 新型コロナウイルス感染拡大により、取引先からの、原材料や部品、商品の調達・仕入れに影響がありますか。（複数回答可、該当する項目に○）



【その他のコメント】

○5月以降、原材料仕入れに影響が出てくることが予想される。

1-2 1-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

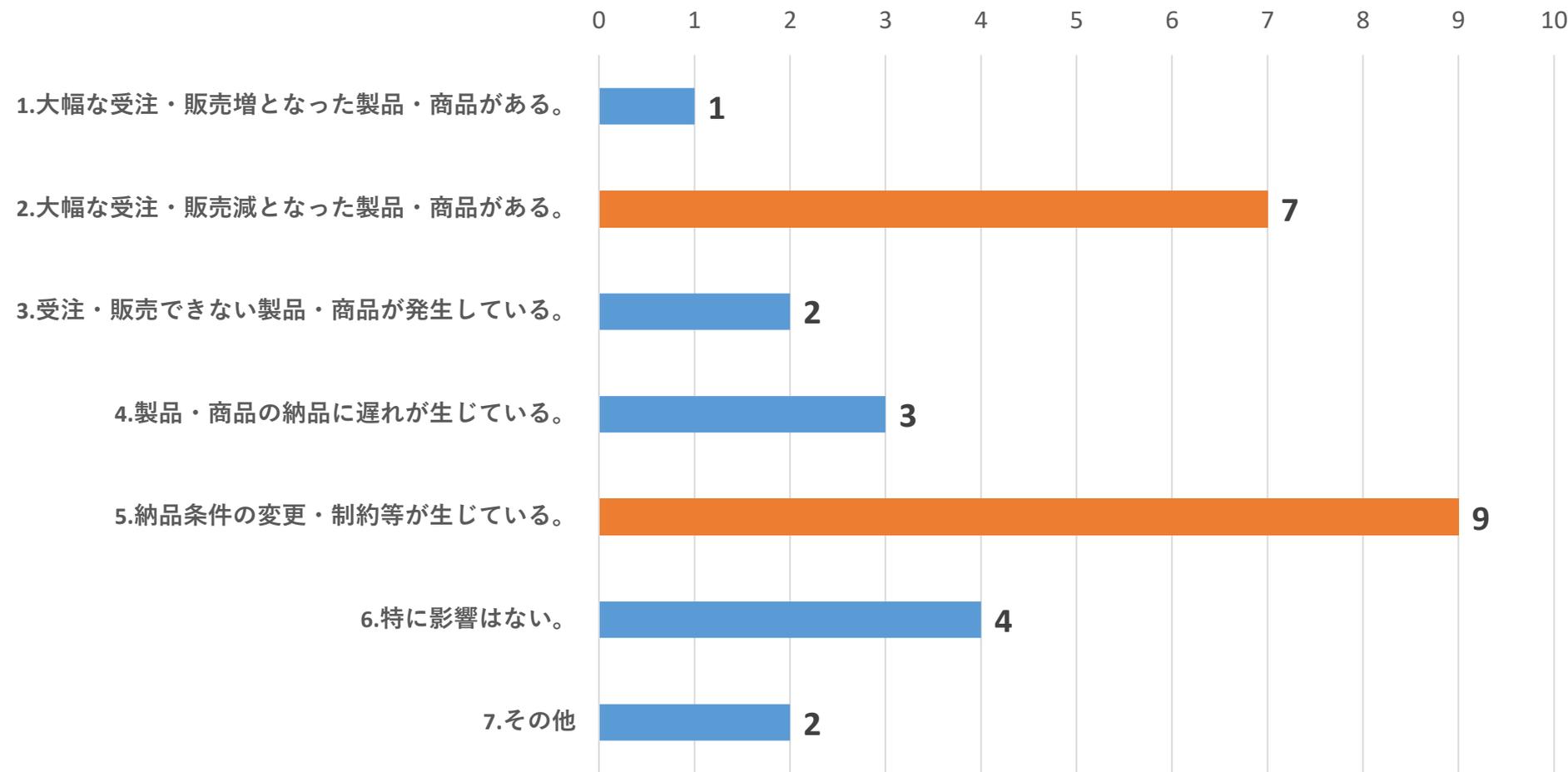
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

○今のところ、丸太の調達には影響は出ていない。林業機械、製材工場の部品等の調達にも明らかな影響は出ていないが、海外製の部品等もあり、故障等が発生した場合どういう対応になるのか分からない。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 合板、チップ、製材品の需要減に伴い、山元からの供給は減るものと思われる。
- 中国経済悪化により各国のコンテナの動きが悪くなり、欧州のコンテナが不足し、欧州発の原木フローリング原板の入荷遅延。
- 欧州からのドライコンテナに遅れが生じている（1～2か月）中国から空コンテナが戻らないため深刻なコンテナ不足が起きている。コロナウイルスについて検疫が強化されているため経由する港で停滞時間が長くなっている。
- 部品（輸入品）などの輸送に若干の遅れを感じる。
- 既存の仕入先以外からの販売依頼が増えており、それに対しても出来るだけ取扱いできるように対応している。住設資材の調達に遅れが出ている。
- 釘、ビス等建築用金物の不足。
- 製品の動きの停滞により、原材料（原木）の仕入れを抑制すると、原木価格の低下。それにより冬場の原木手当の原木在庫評価の悪化。

2-1 新型コロナウイルス感染拡大により、取引先に向けた製品・商品の受注・納品等に影響はありますか。（複数回答可、該当する項目に○）



【その他のコメント】

- 5月以降、大幅な受注減が予想される。
- 今のところは在庫で調整、今後は影響ある。

2-2 2-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 合板の生産減による受入枠の減が今のところ一番大きい。コロナの収束と同じで今のところ先が見通せない。
- 合板工場から原木納入減の通達。海外への為替変動での出荷停止。
- 合板材の、原木納入枠の大幅減少で、大変厳しい状況です。
- 取引先の状況により納品に影響がでている。
- 合板工場への納品（減産調整）。
- 植樹祭等のイベントの変更。
- 合板向けの材の納材が半減以上となっている。
- 生産調整が必要になるかもしれないと報告がきているため。
- 合板用丸太の納品数量が限定され伐倒木の処理ができない。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 景気後退は鮮明になってきており、住宅着工の大幅な落込みが予想され、厳しい状況が今後続くものと思われる。
- 在庫量が限定され、大口対応が出来ない（輸入材につき）。在庫調整して、今後の入荷次第だが、仕入先の生産具合も把握できないので、受注も不安である。
- 輸入の製品の入荷遅れが出ている。国内の製品にシフトする会社も増えている。
- 丸太、製材品の注文減により、販売が落ち込んできている。製材品需要減による値下げから、丸太単価の値下げ要望が出ている。
- 取引先の受入れ数量が減少している。
- 曲げわっぱ業界の最大の販売先が百貨店であるが、来店者数が極端に減少して、まして土日休業や時間短縮等、全く商品が動かなくなっている。デパート問屋からも注文が入っていない状況です。
- 建築用什器、備品の不足により住宅の着工が延期される。

3 新型コロナウイルス感染拡大により発生した業務上の課題や顧客から求められている対応等について具体的な内容を記載してください。

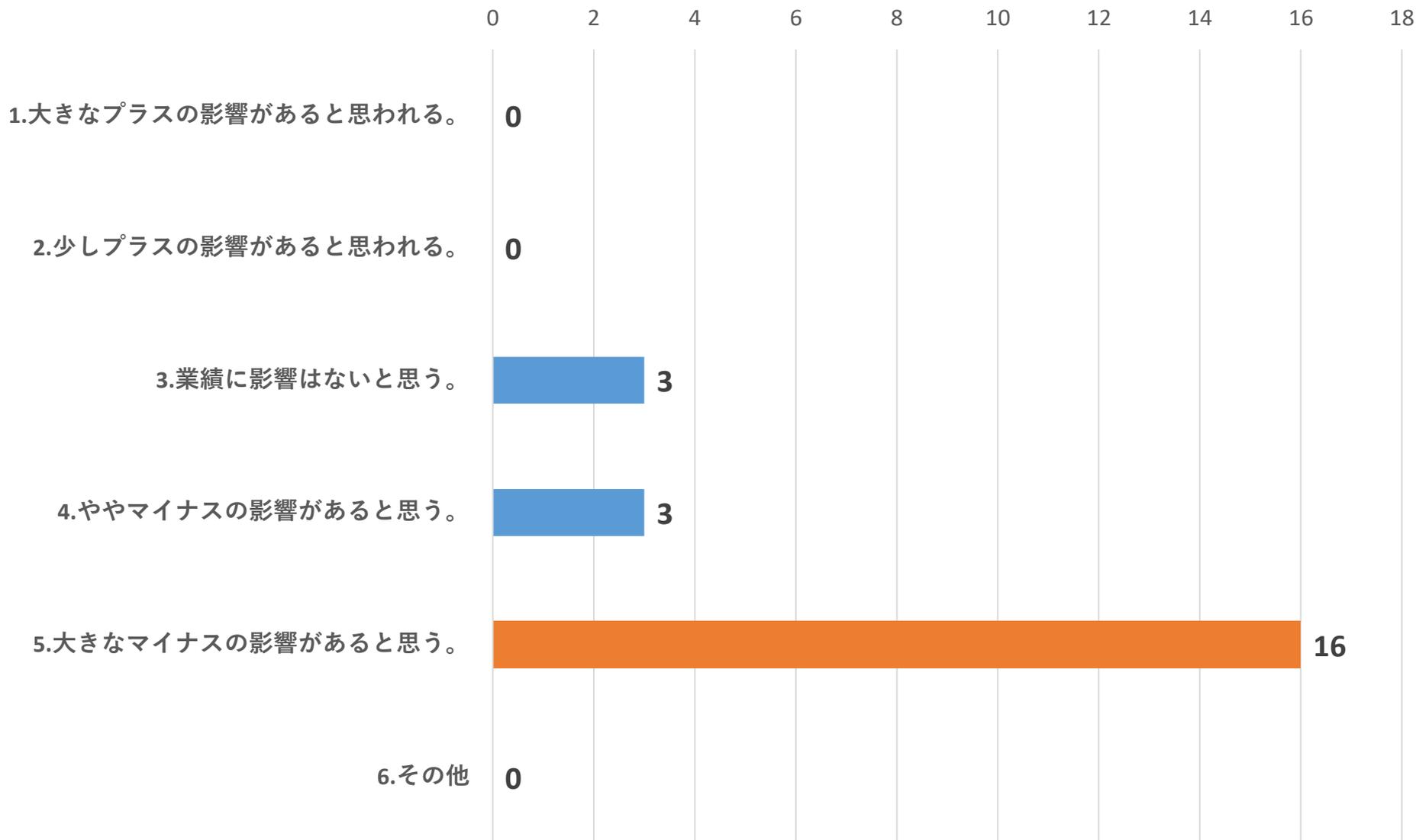
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 従業員の感染防止を徹底すること位しか今のところない。
- 木材運搬の運転手の体温測定（送状に記載を求められている）。
- 春の苗木を秋期に変更。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 3/31現在、顧客からの具体的な対応策等は求められていない。
- 中国から輸入部材の入荷遅延により、何ヶ月先の受注を確定できない。
- 先々の不信感により住宅が建つのか。景気の悪化により新築は二の次。先々不安だらけ。
- マスクをしたいがない。
- ・どの合板工場、製材工場も原料は満杯状態。
 - ・受注減の中、森林整備等で生産される丸太をいかに販売するかが課題。
 - ・既存の顧客だけでなく、普段取引のない所からも、販売できなくなった丸太の向け先について相談が多々ある。
- 当社において感染拡大による影響は受入先の数量の減少のため特別な対応はしていない。
- これからの最大の課題は販売先をどうしたら確保できるのかだと思います。
- 社員が感染することが一番の心配であり、どう防ぐかが課題である。手洗い、うがいは工場内で徹底させている。

4-1 新型コロナウイルス感染拡大による、業績への影響について回答してください。



4-2 4-1の設問の回答についてお考えをお聞かせください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 住宅等の着工の遅れがどの程度となるか見通せないが影響はかなり大きいものとなると思われる。
- 今後、感染拡大の影響により、合板材の注文減少と、価格の引き下げが予想され、大変厳しい状況に。
- ・現時点では影響がないものの、経済活動全体が停滞する中で影響がでると予想される。
 - ・木材の輸出、合板材への供給に支障がでてくることを懸念している。
 - ・木材需要の減少や価格の低下が心配される。
- 発注（請負）が例年通り出来るか不安。社会が混沌、閉鎖し始めたころから仕事どころではなくなるため、世の中が平常にならなければ業績悪化は必至だと思う。
- 売上減少。
- 新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な為、減産調整となっていると報告を受けている為不安がある。伐採・搬出ができない。売上が少なくなる。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 今後の大幅な受注減に伴う業績悪化は避けられない。
- ・見積り又は受注している物件の中止や延期が予想され、売上減。
 - ・原材料を見込み仕入につき支払発生。
 - ・生産減につき在庫過多。
 - ・業績悪化、生産計画不透明、労働賃金問題発生、整理解雇に至る可能性あり。
- 作業がずれ込むと取引先からの入金もずれ込むので苦しい。
- 広範囲にわたる需要減のため。
- 当社において従来通りの業務稼働は出来ている状況にありますが、出荷率が減少することにより売上の現状維持ができない。
- 百貨店・小売店等のイベント中止により、販売に行けないので業績は悪化するばかりである。
- 生産調整するしかない。
- 顧客からの製品価格の低下要請。結果原木高の製品安になる。最終現場の低迷により必要最小限の注文になる為に製品在庫の増加。

5 新型コロナウイルス感染拡大により、想定される今後の課題をお聞かせください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 丸太製品の流通悪化・停滞、機械部品・資材の調達困難、需要減による丸太価格・製品価格の下落。
- 合板工場、港からの輸出に原木量、価格のマイナス。
- ・販売先の確保が課題。
 - ・社内において感染者が発生した時の対応。
 - ・資金調達の検討。
- 特になし（もう少し推移を見ないと）。
- 発注の遅れや資材調達などで売上が入るまでの資金繰りが大変になると思う。
- 施業種の見直し及び伐採樹種の選択・集中。
- 住宅の着工数の減少により製材製品の出荷数量が落ち込むため原木がダブついて来るとされる。
- 作業の停止により長期的な体力を取られざるを得ない。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- ・会社の資金繰り。
 - ・社員に感染者が出た場合の工場の生産停止、休業対応。
 - ・首都圏の感染拡大に伴うトラックなどの流通。
 - ・人が集まる講習会、研修会の中止。
- 事業継続、雇用維持。（取引先の営業時間短縮、展示会の中止、商談会中止などにより受注が大幅に減少、生産減、売上減）
- 非常事態宣言が発令されるかどうか。
- 終息が見えないので先が読めない。経済不況。
- ・受注減の中、森林整備等で生産されてくる丸太をいかに販売するかが課題。
 - ・先の予測と需要者側との細やかな調整が必要。
 - ・今年度の協議会フィールド皆伐実施について、時期や伐採数量については慎重に検討が必要。
 - ・スギに比べて注文減の影響が少ないカラマツ、アカマツがあれば、抱き合わせ販売でスギも販売しやすくなる。
- 終息に向かって努力する事。
- 現状人員不足に付、従業員への感染が仮に発覚（または身内）した場合の職場離脱による工場の稼働低下が懸念される。
- 長引く事によって、ますます販売先が無くなり経営状況が困難になる。
- 売上減少、在庫の増加により一時帰休に入ること考える。今回の問題とは関連はないが、働き方改革により運送面での問題がある。

6 国・都道府県・行政・関係団体への要望・ご意見をお聞かせください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

○長期化した場合の大幅な売上減等に対する支援等、休業補償等。

○原木納入保険金。

○・緊急融資制度において手続きを迅速に行い融資決定の短縮を図っていただきたい。

・業界の動向などの情報を共有してほしい。

○今回の件は世界規模で人命に大きく左右するものであるため、強引と思われる程でいいと思う。後手にまわる方が影響は長引くはず。行政への要望としては、本件で企業が倒れてしまうことを避けるよう努力してほしい。企業は全く力が無い訳ではないが、一番の問題はやはり金になる。経済がストップしても従業員や取引先は生きていかなければならない。借入が多くなるはず。企業の痛手は利子。そこを検討してもらえれば乗り越えていけると思う。それ以外は、今はコロナをどうするかどう守るかを優先していけばいいと思う。

○川下の需要維持への対応。

○早く症状を抑える薬を開発してほしい。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

○経営状況は厳しさを増して行くと考えられ、

1 公共料金（電気代、水道料金など）の負担軽減（とりあえず1年間）

2 固定資産税の減免措置（とりあえず今年1年間）

3 首都圏などへの運賃補助

○新型コロナウイルス対応の経営安定資金申請したいが、結局は借入借金になる。今後の経済回復、好転の時期がいつ頃になるのかが心配、不安であるので、行政は企業の負担にならないような対策を。

○経済支援。

○・国有林、公有林の搬出間伐の発注は、需給状況を鑑みてできる限りの配慮をお願いしたい。

・主伐は、立木販売を基本にするなど、搬出期限を十分に持たせることで、弾力的に対応できるようにしてほしい。

・販売済みの立木販売で、今年度が搬出期限となっているものは、期限延長なども検討してほしい。

・コロナ専門外来用に、仮設の簡易木造施設を作るなど、コロナ対策に上手く木材を活用することも考えてほしい。

・前倒し可能な公共建築物がないかなど、木材需要を支える対応もしっかり準備してほしい。

○水際対策の対応（従事者）の意識が低い。

○一刻も早く新型コロナウイルスに対応できるワクチンを開発してほしいと思います。また、業界には先行きが全く見えない状況ですので今後多大なるご支援をお願いします。

○休業者が出た場合の補償はどうなるか具体的に指導してほしい。

○・法人税、固定資産税、消費税等の全額免除。／・社会保険料の免除。／・公共料金の減免措置。／・住宅建設の促進（不動産取得税、固定資産税等の免除。ローン金利の低下。）いつまで続くかわからない新型コロナウイルスにより会社の継続も考えなくては？